

力 県下一周駅伝、思いがひとつに 強く襷が繋がりました



2月19日(土)から23日(水)にかけて『第69回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会』が開催され、県内12地区の代表選手が53区間583.7kmを駆け抜けました。

郷土入りとなった22日(火)、本町唯一の中継所である三文字中継所では、繰り上げスタート直前に中脇健太選手(中沖小学校)から吉村一樹選手(曾於市役所)へ力強く襷が繋がりました。

新型コロナウイルス感染症予防のため、沿道での応援自粛が呼びかけられた今大会ですが、中沖小学校の児童、教員はテレビ画面に繋いだライブ中継を通して同校職員である中脇選手を応援しました。中脇選手は「子どもたちの応援が原動力になり、頑張れました!」と振り返りました。

大会の総合順位は、鹿児島チームが第1位に輝き、曾於チームは第10位という結果でした。

大 企業版ふるさと納税 大臣表彰を受賞

本町の企業版ふるさと納税に係る寄付活用事業の取り組みが評価され、内閣府が主催する令和3年度『地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)に係る大臣表彰』を受賞しました。

これは、地方創生応援税制の活用促進を図ることを目的に、平成30年度から毎年度、その制度の活用において特に顕著な功績を上げ、他の模範となると認められる活動をおこなった企業や地方公共団体が内閣府特命担当大臣(地方創生担当)から表彰されるものです。今年度は、地方公共団体部門で4自治体を受賞し、本町は自治体として九州で初めての受賞となりました。

2月10日(木)、オンラインでの大臣表彰式が開催され、東町長が参加しました。



標 地産地消の普及・啓発を! 標語コンクールを実施

大崎町食農運営委員会が主催する『食育・地産地消標語コンクール』において大丸小学校2年諸木葵さんが最優秀賞に輝き、1月20日(木)に贈呈式が大丸小学校でおこなわれました。

これは、地産地消の普及・啓発を目的に、町内各小中学校から選ばれた35点の標語作品の中から選考されたものです。

最優秀賞に選ばれた諸木さんには賞状と副賞の大崎町産うなぎなどが贈られました。

最優秀賞

『ちさんちしょう いっぱい食べて大きくなるのがわたしのおんがえし』

